

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100097
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス松元
所在地	鹿児島県鹿児島市石谷町1211番地23 (電話) 099-246-7300
自己評価作成日	令和2年1月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年1月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様お一人おひとりの個性や得意なこと、今まで習慣にしていたことを大事にし、個々のペースに合わせ家庭的なゆったりとした雰囲気の中で、毎日を笑顔で安心した生活が送れるようスタッフは笑顔で挨拶、声かけに努めています。入居者様方が、庭に出て花見を楽しんだり、日光浴、天候の良い日は中庭でテーブルを囲み茶話会をしたり、生きがいのある生活が送れるように支援しています。フロアにおいてもテレビを観たり音楽を聞かれたりまた、会話を楽しまれ入居者様間の良い関係も築けています。運営推進会議の活用により、毎月の地域交流会の参加者も定着し、老人クラブや8月には定期的に地域の方の主催中心になり、ゲームや歌を楽しまれております。主治医の訪問診療もあり、健康チェックも毎日行っており、常に医療機関と連携できる体制づくりに努め、御本人様や御家族様の相談・報告をし、安全かつ安心して、当ホームで過ごしていただけるように最大の努力をしております。職員の外部研修参加、施設内勉強会ではテーマ毎に職員が交代で講師を務めスキルアップに努めています。また、スタッフの入れ替わりも少なく、利用者様、ご家族様との馴染みの関係が取れていると思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は医療法人が母体であり、医療機関や主治医の訪問診療もあり医療連携が整っており安心して過ごせる環境である。
- ・毎月、地域交流会を行い住民との交流がある。毎年恒例のそば打ちは、地域の方々も参加している。野菜の差し入れ等もある。
- ・家族と入居者の絆を大切にしており、家族会の出席も多い。
- ・運営推進会議はホームの取り組みを伝え、参加者から質問や提案も多く出され、地域から好意的な情報を貰い、意見は運営に反映させている。
- ・管理者は職員の育成に力を入れ資格取得の勉強会を行っている。毎月の勉強会には職員が講師になることでスキルアップにつなげている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	(理念)「ゆっくり、ゆったり、けれどもしっかり」「あったか地域であったか交流みんなでつくろうあったかの輪」を玄関、フロアに掲げ、日々の朝礼や、ミーティングの中で唱和し、いつも意識してケアに当たるように努めています。職員憲章も毎朝唱和しております。	法人の理念・職員憲章・ホームの理念と基本方針を掲げ、理念は大きく分かりやすい字でホール・玄関口・詰所等に掲示し、ミーティングや朝礼時に職員全員で唱和している。職員憲章10か条も唱和し、ケアの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回の地域交流会は定着し、毎月地域の方が来訪して下さりゲームや笑運動会・蕎麦打ち・お茶を楽しんでいます。さらに、年に1回、全グループホームの忘年会に各地域のお世話になっている方々をお招きし、地域内外の交流が一層深く取れるようにしています。近所の方・御家族様から季節の野菜や花を頂いております。介護実習の受け入れもしております。	地域交流会を毎月行いゲームをしたり、七夕飾り作成や蕎麦打ち、運動会や忘年会等で地域住民との交流がある。敬老会にも地域の方の参加があり、職員の踊りや歌で楽しんでいる。学生の実習の受け入れもしている。地域に住んでいる職員も多く、近隣に知り合いが多いので野菜の差し入れ等もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を設け、民生委員、地域包括支援センター、入居者様のご家族の参加を頂き、情報交換行っています。また、月1回の地域交流会や春先の地域・家族交流会は演芸・食事を一緒にしていただきながら交流を図り理解を得るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度民生委員・御家族・地域包括支援センター・事業スタッフ・入居者様と情報交換を行っています。多方面からの視点の意見をいただき、参考にし、実践に取り組んでいます。また、ご家族の悩み等を聞いていただきアドバイスを受けたりしております。</p>	<p>2ヶ月毎に開催してホームの状況や地域の情報も出されている。意見交換は活発でホームの状況が良く分かり協力的な意見や情報が多い。家族の参加が多く見られている。参加できなかった家族へはお便り等でお知らせをしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターに出向いたり、運営推進会議で情報をいただけるようにしています。また、鹿児島市から、介護相談の派遣や情報をいただいています。</p>	<p>介護保険の更新の時や新入居者があった時等、窓口に出かけ相談や助言を貰っている。運営推進会議の参加もある。毎年、介護相談員の受入れをしている。生活保護の担当者とも連携を取っている。行政の行う研修会には積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束・虐待について常にミーティング・勉強会で議題に掲げ職員間で意見交換を行い、理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っています。天気の良い日は中庭に出て歌を唄ったりお茶を頂いたりしてのびのびとさせていただくように心掛けています。外出の機会が増えるようにレクレーション係と話し合っています。</p>	<p>指針の整備を行い、身体拘束・虐待について言葉の拘束も含め、毎月のミーティングでの話し合いや、年2回の勉強会で繰り返し課題を挙げて職員間で意見交換をしている。利用者が不穏な時は家族の理解を得て、玄関の施錠をすることもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティングや申し送り・勉強会で虐待の例を掲げ、虐待を見逃すことがないように注意を払い、防止に努めています。入居者様は人生の大先輩として言葉使いに気をつけるように心掛けています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	地域包括支援センターにてリーガルサポート（成年後見人養成講座）を受講し、学習したことは、ミーティングや勉強会で報告し、情報の共有、意見交換行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入退居前、年1回の家族会等で時間をとり、丁寧に説明を行い、質問等にも応じることで理解・納得して頂いています。退居後のアフターケアは運営者、スタッフともに携わり支援しています。また契約の改定などがあつた場合は家族会を開き入居者様、ご家族に解りやすく説明することで理解・承諾を頂けるように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	窓口に意見箱を設置しています。来訪時に気軽に意見交換が出切る様に日頃より気兼ねなく話せるように環境を整えています。地域の方々を含めた運営推進会議を、入居者様・ご家族から寄せられた意見・不満・苦情等について話し合っています。また、介護相談の受け入れを行い運営への参考にさせていただいております。	利用者には日常の関わりの中で声かけをし、家族からは玄関口に意見箱を設置したり、面会・家族会・運営推進会議等で聞いている。遠方の方には電話をしたりお便りを入れている。面会や入浴支援の事等、出された意見は運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に職員研修やミーティングを行い、運営者や管理者との会合を設け、意見交換を行っています。管理者とは、日々の生活の中で気付いた事は随時話し合うようにしています。</p>	<p>日頃から職員間のコミュニケーションが良く話易い環境である。フロアごとに話し合いをして情報を共有している。管理者は日常や職員会議・ミーティング時に話を聞いている。申し送りノートやミーティングの記録からも把握し反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得の勉強会を定期的に行い、資格取得者においては、実践者研修等の研修会に参加できるよう努めています。月の勉強会においてスタッフが講師となり発表することでスキルアップにつなげています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新しい職員は法人内のカリキュラムに従い他の施設の実習に行ったり、講習を受けてもらっています。また管理者・職員の質の向上にむけて、必要に応じた研修を紹介し、積極的に取り組むよう奨励しています。さらに資格取得等の勉強会を法人内で開催し参加を促しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同系列の施設とは、常に情報交換を行いお互いに良い点は取り入れる様に努めています。また、地域包括支援センターを主軸に松元地区内のグループホームのつながりの強化を図っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御本人・御家族から現在までの生活・健康状態、経歴、性格、嗜好等の情報をお聞きし、より良く知ることによってコミュニケーションを円滑に行い信頼関係を築いていける様に努めています。。また、これまでの人生経験や得意とすることが日常生活に生かせるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族、特に現在まで一緒に暮らして来られた方より、その人らしく生活していただく為の、多くの情報を頂けるように努めています。また隔月のスタッフからのお便りで入居者様の近況を報告したり年2回の「松茶便り」を配布することで当施設での日常生活を知っていただけるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様は、病院や施設からの方が多く、そのため、入居前にそれらのところを訪問させていただき、専門の方の情報やご家族様からの情報、ご本人様との会話の中から最初に必要とする支援を見極めるようにしております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔の生活習慣・風習を教えていただいたり、そういった事を話す場面を多くもてるように配慮しながら、会話やコミュニケーションを取ったり、軽作業やレクリエーションを一緒に行いながら信頼関係を築けるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会を催したり、手紙や面会での意見交換で楽しみをもってもらえるように努めています。また、外でお茶や歌を歌ったりと気分転換を図るようにしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・ご近所の方・親戚等、面会に来られた方々の受け入れを通じてこれまでの「つながり」を継続できるように支援しています。来訪者に対しては居室でゆっくりと寛いでいただけるようお茶等を提供しております。	家族や知人の面会時は、居室かフロアでお茶を出してゆっくりして貰っている。馴染みの店に家族と買い物や美容室へ行っている。年賀状のやり取り等で馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事時やお茶の時間、レクリエーション時はスタッフも一緒に入り、特にコミュニケーションの苦手な入居者様にはスタッフが繋ぎ役を務め、円滑な人間関係が持てるように努めています。認知症の重度の方には、トラブルとにならないように配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて御家族様の相談を受け再びホームでの生活を望まれるときは支援が出来るように話し合っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人の希望に沿い、外出・外泊等出来ないか御家族に相談したり、好きな食べ物等を食事に取り入れ、出来るだけ希望・意向に沿うように支援しています。また意志疎通が困難な方には、御家族と共に検討し改善できるように努めています。	日々の会話の中での表情や様子で把握している。特に入浴の時はゆっくりと昔のことや好きな食べ物等の話を聞いている。困難な場合は、家族と話したり、職員にできる最大なケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人・御家族より、これまでの生活歴をお聞きし、施設内での生活に活かせるように努めています。日常生活での本人の得意とする事など、スタッフと共に作業したりしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	御本人の意向・心身の状態・残存機能を把握し、洗濯物たたみ、野菜の保存のための新聞包みなどへの参加。その人らしい生活が送れるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人や御家族・主治医・担当スタッフの意見を取り入れ、相互納得のいくケアプランの作成にあたっています。また、負担にならない程度に生活リハビリを取り入れ、有する能力の維持・向上に取り組む形で作成しています。見直しは6ヶ月、また状況の変化に応じて行っています。毎月個々の話し合いもしております。	往診時の主治医の指示や職員のミーティング記録・本人・家族の意向を把握し職員の意見を取り入れ介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、状況に変化があった時は、その都度見直し現状に即した介護計画を作成している。モニタリングシートに職員が記入できるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、食事・水分摂取量・排泄等身体的状況及び日々の暮らしの様子や、本人の言葉・エピソード等を記録しています。また朝夕に申し送りを行い、情報を共有し本人にとってより良いケアが行えるように努めています。また、ケアプラン評価表を毎月記入し、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携を活かして入居者様の健康管理に配慮し、日常的な安定を図っています。また、必要に応じて、様々な支援に柔軟に対応し、個々の満足度を高めるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域交流会を毎月行っており、近隣住民を招待し、一緒にその時期の食べ物を作って食べ、七夕や笑運動会・正月等その時期にあったゲームや催しを行っております。運営推進会議では、民生委員の方々・スタッフを交えて話し合い、意見交換を行っています。年間計画の中に民生委員 地域の方が中心にしてくださるレクリエーションもあります。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御家族の御希望を伺い、月2回の居宅療養管理指導や往診にて適切な医療が受けられる様に支援しています。また、緊急時の主治医との連携・協力医療機関との医療連携体制も整えています。必要に応じては他の医療機関（皮膚科など）も受診します。	かかりつけ医は本人・家族の希望を聞き、母体医療機関になっている。往診が毎週行われている。他科受診時は家族の同行を原則としているが、家族が同行出来ない場合は職員が同行し、結果は電話等で家族へ連絡している。緊急時の医療体制も整い適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置しており常に入居者様の健康管理や状態の変化に応じた支援を行えるように努めています。介護スタッフは入居者様の変化に気づいた時点で看護職員に相談し、適切な受診につなげています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には御本人への支援方法に関する情報等、協力病院と情報交換を密に行い、状況に応じて洗濯や食事の介助を行い早期退院に繋がるように連携しています。また、御家族とも回復状況等の情報交換をしながら、速やかな退院支援に結び付けるようにしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>御本人・御家族へ「看取りの指針」について説明を行い、主治医と相談し、より良いターミナルケアが行えるよう支援する体制を整えています。また、担当者会議やミーティングにて、終末期における処置・医療連携についての対応についてスタッフ間で共有しています。</p>	<p>重度化・終末期・看取りの指針があり、入居時に本人や家族に説明している。家族会の時にも話している。状況の変化に伴い主治医と家族で話し合い、医療機関へ転移も視野に入れ、職員間で何ができるか話し合いをしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>スタッフ全員、普通救命講習を受けており、常に医療機関や主治医との連携体制も整っています。また勉強会や、申し送り・ミーティングにて意見交換を行い、緊急時のマニュアルも作成しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防避難訓練を行い、地域住民参加で災害時の対処方を勉強しています。管理者は、近隣住民宅へ赴き災害時、避難救助の協力をお願いしています。また、施設外周に車いすでも通りやすい避難経路を整備しています。飲み水・非常食等備蓄あり、スプリンクラー設置もしてあります。連絡網を用いて集合等の訓練もしており緊急時にスタッフ全員が連携し対処できるよう努めています。	年に2回昼夜想定で、消防署立ち合いのもと、消防避難訓練を実施している。広い中庭や駐車場が避難場所になっており、避難経路・避難場所・消火器の使い方を確認している。運営推進会議等の参加者に協力をお願いしたり、地域の方に避難場所での見守りを依頼している。防災設備は、業者が定期的に点検している。備蓄は米・水・おかゆ・缶詰類等の食料品を用意している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティングや勉強会で話し合い、入居者様は人生の先輩であることを心がけ、誇りやプライバシーを損なうことのないよう、尊敬の意をもってスタッフ一人ひとりが言葉遣いや対応に気を付けています。	人格の尊重とプライバシーの確保について勉強会やミーティングの中で話し合いをしている。言葉かけの工夫、入室のノック、名前の呼び方に配慮している。ミーティング等で入居者の名前を出さない工夫をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何事も御本人の思いや希望を聞きながら、能力に合わせた説明を行い、自分で決め納得しながら生活して頂いています。自己決定の困難な方には御家族、スタッフで相談しながら支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設の基本的な一日の流れは持っているが、その人らしくその日の体調に合わせた生活が送れるように支援しています。起床時間や入浴時間、散歩等おひとりお一人の状態や思いに配慮しながら柔軟に対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理容・美容は、施設に来ていただき、パーマや染めたり希望に応じることが出来るようにしています。服装の選択のできる方は御本人に決めていただき、できない方はスタッフが支援しています。外出時や行事時はTPOに応じた装いができるように支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好きなメニューの希望を取り入れ、お茶や食事を提供しています。好みの味付け(味見)や食事の量や形態、食器、時間等にも配慮し個々に応じて食事を楽しんで頂けるように努めています。またその方の能力に応じて、簡単な野菜の皮むき等をしていただいています。	個人の食事形態と嗜好を考慮している。おせち料理、行事食等を計画し、広い庭で花見をしながら食事をする等、食事が楽しみになるよう配慮している。野菜の皮剥き等を一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時にはお茶を10時は牛乳 3時はお茶や紅茶を提供しています。水分チェック表にて1日の水分摂取量を把握しています。摂取が困難な方には、代替食やエンシュア、ゼリー等を準備して、栄養摂取を確保できるように支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけ・誘導を行い、できない入居者様には、スタッフによる歯磨き、義歯洗浄、うがい等の介助を支援しています。月1回訪問歯科があり、希望者には受けていただき、スタッフは指導を受けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各入居者様の排泄チェック表にてパターンを把握し、出来るだけトイレでの排泄を促すように支援しています。夜間の排泄パターンによりオムツ（尿取り）交換を行い、睡眠の妨げにならないように心がけています。	排泄チェック表でパターンを把握し、トイレでの排泄を支援している。表情や仕草で把握することもある。歩行困難でトイレへ行けない利用者には排泄介助で羞恥心や不安をさせないように取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事時間やお茶の時間また、水分量・便の性状を把握し、消化の良い物を提供しています。散歩や体操など体調に合わせて適度に体を動かしていただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	健康状態、精神的（御本人が気乗りがしないときは時間をおいて声かけをする、または翌日にする）状況を見ながらおひとりお一人の希望に沿った時間設定をするように支援しています。また体調の優れない時は、清拭や足浴を行っています。	入浴は週2回を目安にしている。足浴や清拭にも対応している。入浴後は保湿剤を使用して皮膚の乾燥を防止している。気乗りのしない時は日を変えたり言葉かけに工夫し無理せず柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ソファでの休息を希望される方にはゆっくりくつろげるよう場所の提供を行っています。昼食後、口腔ケア済ませ午睡を取れるように、又、夜間の睡眠に支障が無いように調整しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日々の申し送り・ミーティング等にて入居者様個々の使用している薬を把握し、服用時は2人で確認し更にご本人様と一緒に確認し誤薬がないよう服用の支援を行っています。状況に変化がある場合は、主治医・協力医療機関へ連絡し、指示を仰いでいます。また、薬の効用と副作用飲ませ方について薬剤師に聞くようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	居室にてテレビを視聴される方、ラジオを聴かれる方、読書や絵を描いたり毎日新聞を読んだりされる方、また、フロアにて消灯までテレビ視聴される方と楽しみごとの支援をしています。家事参加はできられる方は、参加していただいております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	御一人おひとりの希望に沿って、御家族の協力のもと、外出・墓参り・買い物等を支援しています。車椅子で遠くへはいけない方においては天気の良い日に中庭に出てお茶を飲み、歌を唄ったり体操をしています。正月は近くの神社へご家族の参加して下さるところは一緒に初詣に行き喜んでいただいております。	希望に沿って、外気浴や散歩をしている。年間計画を立て初詣・花見・母の日・七夕・敬老会・運動会等、家族の協力を得ながら出かけている。外出が困難な利用者は、中庭で花見や体操・お茶飲み等の外気浴を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理のできる方は、御自分で所持し、買い物時に御自分で払っていただくなど自由に使えるように支援しています。管理ができない方に対しては、御家族と相談の上、買い物ができるように支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人自ら電話したり、手紙は本人が書けない方は、定期的に近況を報告という形で写真を添えて送っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>必要な箇所にはカーテンで採光の調節をし、テーブルには鉢や生け花、季節の飾り付けを行い壁は入居者さまが出来るだけ参加できるもの貼り絵を作成し、家庭的な雰囲気作りに心掛けています。居室にはカレンダーを貼り、季節を感じていただいています。トイレ、室内の臭いには敏感に反応し、空気の入れ換えや、消臭スプレー等を使用し気持ち良く過ごしていただけるよう配慮しています。</p>	<p>共用空間は天井が高く明るい。室温・湿度・換気に配慮している。ソファや畳の部屋があり、ゆっくりとくつろげるスペースである。施設の色々な場所に鉢植えの花や植物が置いてあり、落ち着いた雰囲気がある。壁には職員と合作の作品が飾っており、清掃も行き届き、居心地よく過ごせるように配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>みんなで一緒に寛ぎ談笑するテレビの前と、一人でゆったりできるようにと3箇所ソファを置くことで状況に応じた各入居者様の居場所を確保しています。スタッフが入居者様と入居者様との会話の繋ぎ役を行うことで馴染みの関係を作っています。会話のできられる方は席を近くにしています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>御本人、御家族と室内のレイアウトを相談し、使いやすい配慮、使い慣れたものがあれば持ってきていただき、御本人が居心地良く暮らせるように工夫しています。本人の状況に応じて衣類等の置き場所も考慮しています。</p>	<p>タンス・ベッドが設置されており、家から持ち込まれたテレビ・家族写真・ぬいぐるみ・暦・時計などを持ち込み、テレビの配置も考えて居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部はバリアフリーになっており、廊下・フロア・トイレ・浴室等は手すりを設けてあり、安全にできるだけ自立した生活が送れるように工夫しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない